



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブレインパッド

コード番号 3655 URL <http://www.brainpad.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 隆史 (戸籍名: 高橋 隆史)

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石川 耕 TEL 03-6721-7001

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績 (平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	633	36.0	49	ー	31	ー	1	ー
26年6月期第1四半期	466	11.1	△38	ー	△58	ー	△41	ー

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 3百万円 (ー%) 26年6月期第1四半期 △41百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	0.29	0.28
26年6月期第1四半期	△6.21	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,703	1,159	67.9
26年6月期	1,837	1,156	62.8

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 1,156百万円 26年6月期 1,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
27年6月期	ー				
27年6月期 (予想)		0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想 (平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

平成27年6月期の業績予想につきましては、売上高と営業利益は平成26年6月期を上回ると見込んでおります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期1Q	6,715,872株	26年6月期	6,706,932株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	34株	26年6月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期1Q	6,708,064株	26年6月期1Q	6,637,302株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の落ち込み以降も生産の弱含みや個人消費の回復の鈍さが続いております。一方で、雇用・所得関連が改善傾向を維持するとともに、設備投資も回復の傾向を示しており、景気全体としては緩やかな回復軌道に戻りつつあり、国内のITサービス市場は、システム構築需要に支えられ堅調な成長を続けております。

このような中、当社グループは、国内におけるビッグデータの利活用に対する認知度向上を追い風とし、データ分析のリーディングカンパニーとして、データ分析に関連する3事業をワンストップで展開できる特色を活かし、前期に引き続き、積極的な営業活動を推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は3事業ともに前年同四半期を上回り、順調に推移いたしました。利益面は、前年同四半期は本社オフィス移転に関する一時的費用の計上等により赤字となりましたが、当四半期連結累計期間は売上高の伸長が利益成長に繋がったことに加え、前年同四半期のような一時的費用の発生がなかったことにより、大幅な増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高633,665千円（前年同四半期比36.0%増）となり、営業利益49,187千円（前年同四半期は営業損失38,315千円）、経常利益31,775千円（前年同四半期は経常損失58,357千円）、四半期純利益1,923千円（前年同四半期は四半期純損失41,194千円）となりました。

続きまして、セグメント別の業績は次のとおりです。

(アナリティクス事業)

アナリティクス事業は、企業の有する大量データを分析するデータマイニングと、その分析結果に基づく企業行動の最適化支援を、幅広い顧客向けに提供している当社グループの主要事業です。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前期に引き続き、データ分析に関わる様々な業種からの受託分析業務が好調に推移し、立ち上げ期にある連結子会社（博洋信息服务（大連）有限公司（中国現地法人）および株式会社ミディー）の費用を吸収し、安定的に収益を確保いたしました。

この結果、売上高は210,562千円（前年同四半期比25.7%増）、セグメント利益は29,076千円（前年同四半期比32.7%増）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業は、顧客企業に対して、データ分析および分析結果に基づくマーケティング活動に必要なソフトウェアのライセンス提供とシステム開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ソフトウェア利用権の月額サービス提供や保守サービスの提供等によるストックビジネスによる売上（注1）に加え、データ分析環境構築に係る受託開発案件が好調に推移いたしました。

また、特徴ある製品群のさらなる拡販に向け、主力製品「exQuick（イクスクイック、マーケティング・インテリジェンス・ソリューション）」の販売におけるコダック合同会社との提携や、EC企業向けに特化したSaaS型（注2）キャンペーンマネジメントシステム（注3）「Probanance One to One Program（プロバンス・ワン トゥ ワン・プログラム）」の提供を開始いたしました。

この結果、売上高は173,198千円（前年同四半期比31.5%増）、セグメント利益は39,648千円（前年同四半期比26.5%増）となりました。

(マーケティングプラットフォーム事業)

マーケティングプラットフォーム事業は、当社が着目したデータ分析系のアルゴリズムから独自性の強いソフトウェアを自社開発し、SaaS型サービスによる顧客企業への提供と、その保守業務等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである「Rtoaster（アールトースター、Webプラットフォーム・レコメンドエンジン）」「L2Mixer（エルツーミキサー、リスティング広告最適化ツール）」のストックビジネスによる安定的な収益確保に努めました。

また、拡大するアドテクノロジー領域への対応をより強化するための接続先拡大の施策として、グーグル株式会社が提供するDSP（注4）「DoubleClick Bid Manager（ダブルクリック・ビッド・マネージャー）」と当社「Rtoaster」の接続を開始いたしました。

この結果、売上高は249,930千円（前年同四半期比49.8%増）、セグメント利益は110,412千円（前年同四半期比181.6%増）となりました。

(注1) 顧客数に応じて比例的に安定収益を得られるビジネスのこと。当社グループのソリューション事業におけるソフトウェアライセンスの月額サービス提供や保守サービス、マーケティングプラットフォーム事業におけるSaaS型サービスの月額利用サービスなどが、これにあたる。

(注2) アプリケーションソフトの機能をインターネットを通じて顧客に提供すること。

- （注3）販売促進の目的で企業が実施するキャンペーンを統合的に管理していくために開発されたソフトウェアのこと。
- （注4）Demand-Side Platformの略。複数の広告枠の配信最適化と効果検証などの一元管理を目的に開発された広告主向けプラットフォームのこと。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、873,270千円となり、前連結会計年度末に比べ138,408千円減少しました。これは主に仕掛品の増加12,379千円があった一方で、現金及び預金の減少82,392千円、受取手形及び売掛金の減少67,875千円によるものであります。

また固定資産の残高は、830,321千円となり、前連結会計年度末に比べ4,808千円増加しました。これは主にソフトウェアの増加36,445千円、投資その他の資産の増加20,197千円があった一方で、無形固定資産その他の減少43,067千円、のれんの減少4,724千円、有形固定資産の減少4,042千円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ133,599千円減少し、1,703,592千円となりました。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、363,866千円となり、前連結会計年度末に比べ145,958千円減少しました。これは主に前受収益の増加30,670千円があった一方で、短期借入金金の減少100,000千円、未払法人税等の減少48,352千円、流動負債その他の減少14,667千円、未払費用の減少8,733千円によるものであります。

また固定負債の残高は、179,787千円となり、前連結会計年度末に比べ8,684千円増加しました。これは主に固定負債その他の増加18,719千円があった一方で、長期借入金金の減少10,278千円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ137,274千円減少し、543,654千円となりました。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,159,938千円となり、前連結会計年度末に比べ3,675千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加1,923千円、為替換算調整勘定の増加1,152千円によるものであります。この結果、自己資本比率は67.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も、ビッグデータの利活用に対する関心の高まりにより、データ分析関連ビジネスを取り巻く市場は成長を続けるものと予想されます。このような中、当社グループの業績は、売上高、営業利益ともに前年を上回るものと見込んでおります。（業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	426,653	344,261
受取手形及び売掛金	447,687	379,812
仕掛品	10,653	23,033
繰延税金資産	7,890	2,939
その他	118,793	123,223
流動資産合計	1,011,679	873,270
固定資産		
有形固定資産	170,710	166,667
無形固定資産		
ソフトウェア	265,828	302,274
のれん	61,414	56,690
その他	94,918	51,850
無形固定資産合計	422,161	410,815
投資その他の資産	232,641	252,838
固定資産合計	825,512	830,321
資産合計	1,837,192	1,703,592
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,897	39,872
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	48,996	47,025
未払金	33,130	37,251
未払費用	87,079	78,346
前受収益	61,224	91,894
未払法人税等	79,166	30,814
その他	53,330	38,662
流動負債合計	509,825	363,866
固定負債		
長期借入金	137,133	126,855
資産除去債務	33,123	33,366
その他	846	19,565
固定負債合計	171,103	179,787
負債合計	680,929	543,654

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,731	331,031
資本剰余金	307,431	307,731
利益剰余金	512,198	514,122
自己株式	△23	△23
株主資本合計	1,150,338	1,152,861
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,717	3,870
その他の包括利益累計額合計	2,717	3,870
新株予約権	3,206	3,206
純資産合計	1,156,263	1,159,938
負債純資産合計	1,837,192	1,703,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	466,020	633,665
売上原価	293,829	369,330
売上総利益	172,190	264,334
販売費及び一般管理費	210,506	215,147
営業利益又は営業損失(△)	△38,315	49,187
営業外収益		
受取利息	112	13
業務受託料	913	1,489
その他	73	1,021
営業外収益合計	1,099	2,523
営業外費用		
支払利息	166	493
支払手数料	19,597	—
持分法による投資損失	—	18,284
その他	1,377	1,158
営業外費用合計	21,141	19,936
経常利益又は経常損失(△)	△58,357	31,775
特別利益		
新株予約権戻入益	61	—
特別利益合計	61	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,296	31,775
法人税、住民税及び事業税	139	29,058
法人税等調整額	△17,251	879
法人税等合計	△17,112	29,937
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△41,184	1,837
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△86
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,194	1,923

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△41,184	1,837
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△340	1,238
その他の包括利益合計	△340	1,238
四半期包括利益	△41,525	3,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,525	3,076
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	マーケティングプラ ットフォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	167,453	131,714	166,852	466,020	—	466,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	167,453	131,714	166,852	466,020	—	466,020
セグメント利益又は損 失(△)	21,903	31,344	39,215	92,464	△130,780	△38,315

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用130,780千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

アナリティクス事業において、株式会社ミディーを連結子会社化したことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増減額は、当第1四半期連結累計期間において75,587千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	マーケティングプラ ットフォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	210,536	173,198	249,930	633,665	—	633,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	—	—	25	△25	—
計	210,562	173,198	249,930	633,691	△25	633,665
セグメント利益	29,076	39,648	110,412	179,137	△129,950	49,187

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用およびセグメント間取引
129,950千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理部門
等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な
内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。